

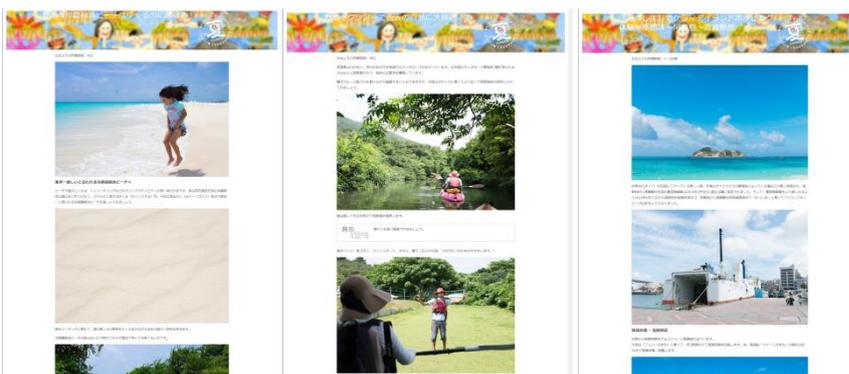
～沖縄離島 ちょっと先にある、もうひとつの楽園～
沖縄離島観光サイト『リトハク』をリニューアル！

沖縄の離島にしかない観光コンテンツ(体験・参加型)を季節ごとに紹介し、
新たな訪問者の呼び込みとリピーター促進を狙います。

リトハクURL <http://cp.okinawastory.jp/ritohaku/>



TOP ページ



観光コンテンツページ (特集記事)

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：上原良幸）は、このたび沖縄離島観光サイト『リトハク』（<http://cp.okinawastory.jp/ritohaku/>）のリニューアルを行い、夏の観光コンテンツ（全11特集記事）を掲載しました。本サイトは、沖縄の離島そのものが博覧会場であるというコンセプトのもと、各離島を“パビリオン”に見立て、豊かな観光コンテンツを季節ごとに紹介しています。沖縄本島の少し先にある、離島ならではの魅力的な観光コンテンツを掲載していきます。

訪問者の約80%をリピーターで占める沖縄県では（※1）、来沖回数が多くなるにつれ、離島への訪問率が高まる傾向があります（※2）。離島訪問の理由は、離島ならではの素晴らしい自然環境に起因するところが多く、それらを活かした体験・参加型の観光コンテンツが求められています。本サイトでは、それらを具体的に紹介し、新たな訪問者を呼び込み、リピーターを増やしていくことを目指します。

また、沖縄離島観光の追い風となるのが、南ぬ島石垣空港の開港や、慶良間諸島の国立公園指定です。

2013年3月に開港した南ぬ島石垣空港では、乗り入れ便の増加に伴い飛躍的に来島者数が伸び、前年対比132%を記録しました（※3）。また2014年3月に国立公園指定を受けた慶良間諸島では、3島を結ぶ内海航路船の運航を開始するなど、旅行者の利便性の向上により今後更に沖縄観光を牽引していくエリアとなることが見込まれます。

今後、『リトハク』では、季節ごとに旬な観光コンテンツの発掘と発信を通じて、離島への訪問意欲を産み出し、沖縄県の観光振興につなげます。

※1：参照 沖縄県「平成24年版観光要覧」内「観光統計実態調査」※別紙資料添付

※2：参照 沖縄県「平成24年度観光統計実態調査」※別紙資料添付

※3：参照 石垣市「平成26年石垣市観光入域推計表」

【本件に対するお問い合わせ先】

【一般の方】一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB） TEL 098-859-6123(代)

【報道関係】リトハク PR 事務局 (ストライクアクトリ) 担当: 大津 TEL: 070-5075-3230 E-mail: strikehotsu@gmail.com

本件のご取材ご掲載、画像提供等につきましては上記宛にお問い合わせ下さいませ。

■ 沖縄離島情報キャンペーンサイトリニューアル版『リトハク』の概要

島が好き！離島博覧会『リトハク』とは

沖縄離島には、まだまだ知らない魅力的な観光体験がいっぱい。
そんな、沖縄離島の魅力的な観光体験を集めた「離島博覧会」、
略してリトハク！

個性豊かな沖縄離島4エリア（八重山諸島、宮古諸島、久米島、
15離島）にある島々をパビリオンに見立て、
季節ごとに異なる魅力たっぷりの観光体験が満載。

あなた好みの沖縄離島での観光体験をリトハクで探してみませんか。



- 名称：島が好き離島博覧会『リトハク』
沖縄離島 ちょっと先にある、もうひとつの楽園
- URL：<http://cp.okinawastory.jp/ritohaku/>
- 公開日：平成26年7月4日（金）
- コミュニケーションコンセプト：“沖縄離島” ちょっと先にある、もうひとつの楽園
- 主なコンテンツ：
 - 【TOPページ】 沖縄離島4エリアの全体像
 - 【観光コンテンツページ】 沖縄離島4エリア（八重山諸島・宮古諸島・久米島・15離島）の体験記事
 - 【その他】 各島のイベント情報、基本情報 等
- 主催：沖縄県・一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（略称：OCVB）

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

沖縄観光の強力かつ効率的な推進体制を再構築するため、観光とコンベンション分野を統合一元化し、平成8年4月に発足した「官民一体型」の県内唯一の推進母体です。国内外における観光誘致宣伝事業の展開及び受入体制整備事業の推進や観光・リゾート関連産業の人材育成、多彩なイベントの開催などにより、新たな観光・リゾート産業の一層の活性化に寄与しています。

公式サイト <http://www.ocvb.or.jp/index.html>



■ 参考資料／沖縄県の観光について

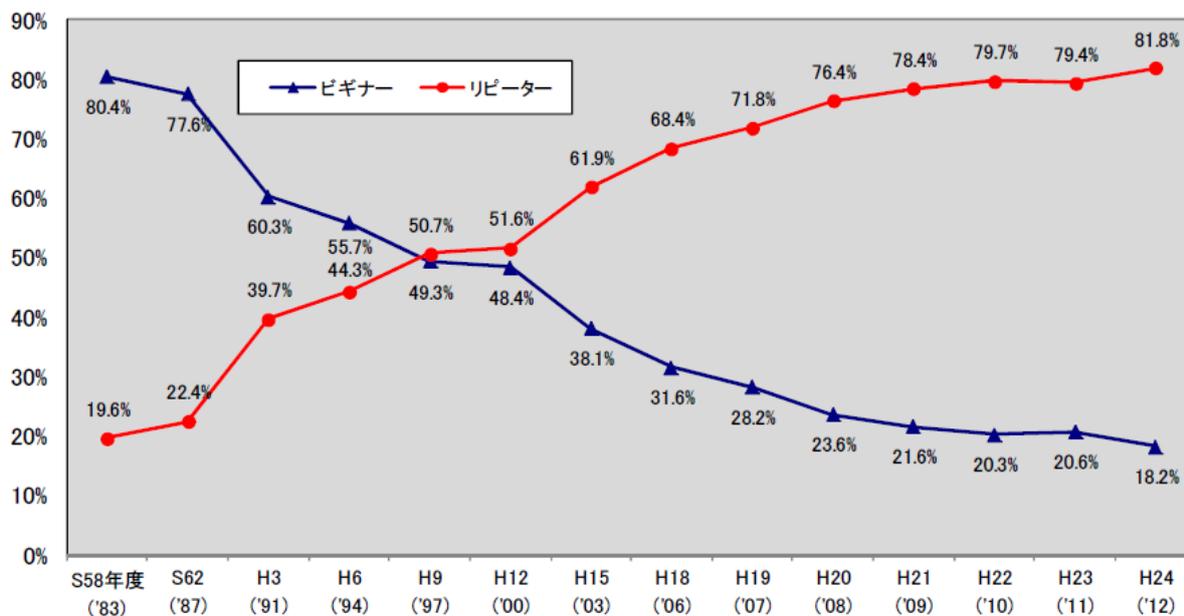
※ 1 沖縄県旅行者の構造

～約80%はリピーター～

沖縄県のリピーターは増加傾向にある半面、新規の訪問者数は減少傾向にある。

リピーターを繋ぎとめ、更に新規の訪問者の訪問のキッカケ作りとして、観光コンテンツの訴求が求められている。

初回来訪率とリピーター率の推移



※出所：沖縄県「観光統計実態調査」

※H12年度、H15年度、H18年度は航空機内で行った大規模調査による数値

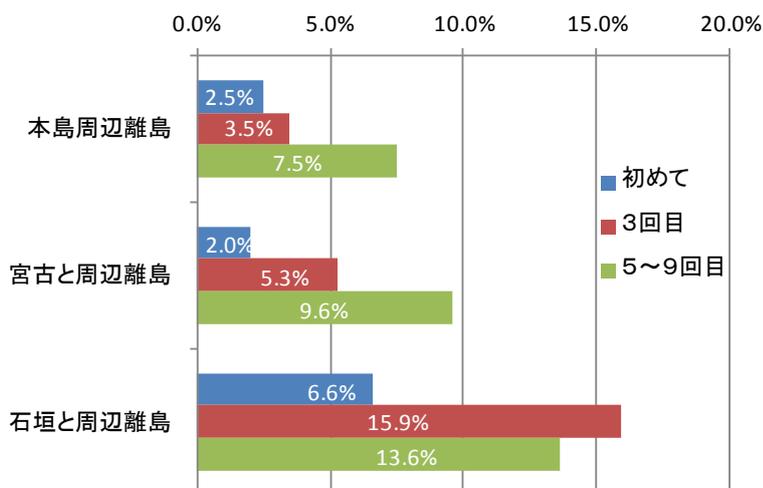
※ 2 離島の訪問率と来沖回数

～来沖回数にほぼ比例して離島への訪問が増加～

沖縄旅行者の訪問率が増加すると、相対的に離島を訪問する確率が向上していくことがわかり、特に1回目とリピーターの間での差は顕著である。

一度離島を訪れた旅行者が、離島の自然環境や離島ならではの魅力に魅せられ、再訪をする確立が高まっていることが想定されることから、離島の具体的な魅力を観光コンテンツとしてサイト訪問者に見せていくことが重要であると思われる。

離島訪問率と来沖回数の変化



※出所：沖縄県「平成 24 年度観光統計実態調査」

※来訪回数別の旅行先データから、初めて、三回目、5～9回目の数字を抜粋